

16、「荒城の月」を完成させましょう。(その-1)

※『あつれ～、まだ完成してなかったの～』とか思われた方がいらっしゃるかも知れません。そうです(!) ギターはそんなにアマ～ィものではありません。しかし、ちょっぴり面白さを感じてきた方も少なくないと思います。もうひと頑張りしてみてください。何回弾いても飽きない内容になっていきます。

● 譜例-46-bのところで「あとで役に立ちます。」と思わせぶりなことを書きましたが、次の2段を比べて見て下さい。


(譜例-46-dのコピー)



譜例-48



● 眺めやすいように指や弦の記号を無くしてしまいました。

大きな違いは、2小節と3小節の和音が入れ代わっていることと、「」で示した1小節後半から2小節にかけて、頭上に「？」マークがいくつか浮かんでしまいそうな音が並んでいることです。

この箇所をクリアするためには「セーハ(又はバレー)」という、1指で複数の弦を押さえる技術をマスターしていただかなければなりません。

● 「セーハ」の練習には楽譜は不要です。急がずに、手順を追ってイメージ作りから始めて下さい。右手は、1弦=a、2弦=m、3弦=i、5弦=pと、各指を軽く触れておきます。

1. 先ず5pos.に左手を用意して下さい。(5pos.で始めるのは、*印がその押さえ方の音だからです。)
2. 次に1指をフレットに平行に伸ばして1～3弦に軽く触れて下さい。(すぐに弦を押さえ込まない)
3. ネックに支えているおや指を丁度1指の裏側に位置するように用意したら、さらにおや指の太さ約1本～半本分くらい2指寄りにずらして下さい。
4. そこで「えいや～っ!(力づく!)」と、おや指と伸ばした1指でネックを挟むようにします。でも、右手は弦をはじかない(音を出さない)で下さい。

* 多くの人は、すぐに音を出そうとするからうまくいかないのです。

5. 5pos.で「えいや～っ!」と2回やってください。1回の挟み続けている時間は1～2秒で充分です。
6. つぎに左手全体を1pos.高くして「えいや～っ!」を2回やってください。
7. 同じ要領で7pos.でも「えいや～っ!」を2回やったら、6pos.で2回、5pos.で2回…同じに4pos.～2pos.～7pos.…と2回ずつの「えいや～っ!」をくり返します。疲れたら…止めましょう。

* 今の段階で1pos.では「えいや～っ!」をしないでください。音を出しづらいのです。pos.を下げれば下げるだけ弦のテンションは高くなります。1pos.ではナットがあるために2pos.までとは違って極端に挟み込みの力が必要になります…成果より手の負担が大きいので今はやめましょう。

8. 「えいや～っ!」を2回ずつ、2pos.～7pos.の往復を2～3回繰り返した後、弦をはじきましょう。

* 「えいや～っ!」はけっこう力が要りますが、右手は解放弦をひいたときの力加減をキープし、pos.を移動しながらゆっくり目に、必ず2回ずつひくことをくり返して下さい。同じpos.で頑張り続けるより10倍(!) しっかりしたセーハを身につけられます。